



金多豆蔵人形製作体験

「こどまり春物語ツアー」が今年から「ぐるっとなかどまり味覚体験ツアー」となり、さらに多くの人に「魅力ある中泊町」をアピールしようと4月20日(土)～21日(日)に行われました。

青森市や弘前市などから23人が参加したツアー初日は、津軽中里駅にて金多豆蔵人形の製作体験から始まり、小泊地域へ移動して「七つ滝」やみちのく松陰道入口で記念撮影、宿泊する民宿青岩荘にて夕食を兼ねた交流会が行われました。

交流会は、中里三味線会による演奏、権現漁火会ジュニアによるよさこいで歓迎しました。途中、日本海に沈む夕日、終盤にはヤリイカ漁の漁火がみえていました。

料理は、旬のヤリイカ、タコ、タイ、メバル、スズキなどの刺身、イカリングフライ、サメのフライ、ワカメ、ダシたっぷりすずきのお吸い物などが食卓に並べられました。参加者23人のうち半分以上が初参加で、「こんなおいしい料理はなかなか食べられない、次回も参加したい」と話していました。

2日目は、小泊入舟地区の散策と漁港市場で水揚げ見学、徐福の里直売所では、いかめしやホッケつみれ汁づくりを体験し、春のこどまりを満喫しました。この日は、駅ナカ「にぎわい空間」春の出発式も行われ、ツアー参加者は金多豆蔵人形芝居を鑑賞しました。

主催者である小泊観光協会の川山会長は、「通算16回目のツアー開催となり、今回は小泊地域だけではなく中里地域も楽しんでいただくため、名称を変えて新しい体験メニューを考えた。また来たいと思うツアーを考えていきたい」と話していました。



タコの大きさに驚くツアー参加者

旬の味覚盛りだくさん

道の駅こどまりオープン



いわしのつめ放題

4月27日(土)、冬期間閉鎖されていた竜泊ラインの開通に合わせ、道の駅こどまり「ポントマリ」がオープンしました。

この日は、ヤリイカ味覚まつりが行われ、ホッケのつみれ汁の無料提供、恒例のヤリイカ釣り、煮ダコ直販コーナーやわかめ・いわし100円つめ放題などの目玉イベントを用意し、観光客が増える11時から、中里中学校プラスバンド部による演奏で歓迎しました。

今年も生ワカメのつめ放題は、参加料がたったの100円ということで人気を集め、親子連れはヤリイカ釣り体験を楽しんでいました。道の駅こどまりは、積雪で竜泊ラインが閉鎖される11月中旬まで営業する予定です。

